

ひまわりだより

春日こども園
令和6年度 活動報告 No. 5



＜バッグ作り＞

遠足を前に、何が楽しみかや見つけたい木の実や虫を聞き、その思いを絵にして木の实バッグの周りに貼りました。様々な大きさのどんぐりの絵を描く子や「おにぎり食べたいな」と好きなお弁当や果物などの絵を描く子がいました。完成した絵を友達と見せ合い、「どんぐりいっぱい拾いたいな」「大きいどんぐり拾いたい」など遠足を楽しみにする声が聞こえてきました。



＜秋の自然物を使って＞

どんぐりを使ってハリネズミとフクロウの製作をしました。線に沿ってハサミで画用紙を切り、のりで体のパーツを貼り付けてからクレヨンで顔を描きました。そして、ハリネズミは足の部分、フクロウは耳の部分にどんぐりをボンドで貼りました。「粘土みたい！」「白かったのに透明になった！」とボンドの色の変化に驚いたり、のりとの違いに気付いたりしていました。保育者が作ったどんぐり転がしを真似して、空き箱などを使って自分で製作する子もいました。ゴールの位置にどんぐりが辿り着くと「やった！」と嬉しそうに何度も遊ぶ姿が見られました。友達と一緒にどんぐりこまをして遊ぶ子もいました。何回も回すうちにコツを掴み「たくさん回ったよ！」「きのこ回してきた！」と楽しそうに見せてくれました。自然物に触れて遊ぶことで、製作や遊びの幅が広がり身近な自然を感じることができると、今後も活動の中に取り入れていきます。



＜秋の遠足＞

自然散策では、落ち葉っぱの道を歩きながらどんぐりや虫を探しました。どんぐりの形や大きさ、色の違いにも気が付き「あっちに大きいどんぐりが落ちていたよ」「葉っぱの下にたくさん落ちてるよ」など夢中になって秋の自然探しをしました。また、芝生広場では、芝生を触ったり寝転んだりして友達と「チクチクする」「気持ちいいね」など感触を楽しんでいました。広場を走ることで秋の涼しい風を感じることもできました。異年齢でのふれあい遊びや一緒に弁当を食べる際には、ゆり組のお姉さんお兄さんの真似をしながらたんぼ組の友達のお世話をする姿が見られました。困っている子に声を掛けたり手伝ってあげたりする姿から成長を感じられました。



＜交通教室＞

横断歩道（交差点・単路）の渡り方や道路の歩き方などを学び、実際に園庭で練習をしました。講話では、指導員さんの話を真剣に聞き、歩行訓練では、信号や車を自分の目でよく見て声に出しながら安全確認を行いました。園外保育などで今回学んだことを生かしていきます。



＜誕生会＞

誕生児にポーズを考えてもらい、歌に合わせてみんなでポーズを真似するゲームをしました。一人ひとりかわいいポーズやかっこいいポーズを自分なりに考えて披露してくれました。「このポーズ私もやりたい」と真似する側も楽しんでいました。このような遊びを通して、友達の前で思いや考えたことをいろいろな形で表現することを楽しんでいます。